

北海道真狩高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和6年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	地域の特性を生かし、教育資源を活用することにより「有機農業コース」と「野菜製菓コース」やプロジェクト学習の充実、発展を図ります。	B	育成したい生徒像を明確化することで「身につけたい資質・能力」を意識した教育課程の編成を推進します。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	インバウンドをいかした生徒の英語教育における実践機会を提供しグローバル教育を推進します。	A	英語教育の実践機会として英語表記のPOP制作を行い、インバウンドにも対応した販売会を実施します。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	講演会や先進地視察を含めた担い手研修を実施します。 地域に向けた本校GAP圃場を公開します。	A	農業改良普及員や指導農業士、菓子製造業者など専門機関による研修や出前授業を実施します。 地域の方々にGAP圃場の公開を実施します。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	日頃の学習を生かし、プロジェクト活動では地域貢献を意識した課題設定をし、関係機関と連携した専門教育を推進します。	A	分会活動での連携活動や地域貢献となる取り組みを推進します。 スマート農業やICTを活用した農場運営を行います。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	循環型社会意識を高め、安全・安心な農産物・加工品の生産・製造により地域への発進力を高めます。	A	GAP教育の充実を図ることで、高品質な農産物を生産します。 有機JAS農産物の付加価値を生かした販売に取り組みます。 HACCPの考えを取り入れた衛生管理に取り組みます。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	村立学校の特色をいかし、保・小・中との連携学習や地域交流をとおして、農業教育活動を地域に広めます。	A	実習農場を活用し、生産、加工、流通までの食農教育に取り組みます。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	創造社会に向けたスマート農業や持続可能な農業を推進します。	A	本校のロボットトラクタや農業用ドローンを活用し、スマート農業の学習に取り組みます。 有機JAS認証の取り組みを生かした持続可能な農業生産に取り組みます。
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	危険物取扱や普通救命講習の資格取得を推奨します。 校内防災をはじめ地域防災について意識を高め、各施設、設備、車輛等の点検・管理に努め、生徒の安全教育を推進します。	A	1年生の危険物取扱免許取得率60%を目指します。 普通救命講習を実施します。 危機管理マニュアルの再確認と周知を徹底します。